

第2回 幹細胞シンポジウムご案内

開催日 : 平成16年4月26日(月)、27日(火)

会場 : 経団連会館 14F
経団連ホール
TEL 03-5204-1500

世話人 : 慶應義塾大学医学部 発生・分化生物学
須田年生

主催 : 幹細胞シンポジウム

第2回幹細胞シンポジウム [平成16年4月26日]

開会挨拶 8:55~9:00 須田 年生

A. 内科

座長：中尾 一和 (演題1-4 9:00~9:48)

S-1. 9:00~9:12

霊長類 ES 細胞由来血管前駆細胞の同定と血管再生治療への応用

曾根正勝¹、伊藤 裕¹、山下 潤²、小林貴美¹、野々口あかね¹、山原研一¹、宮下和季¹、朴 貴典¹、西川伸一³、中尾一和¹ (¹京都大学大学院 医学研究科 内科学講座 内分泌代謝内科学、²京都大学再生医科学研究所、³理化学研究所 発生再生総合研究センター)

S-2. 9:12~9:24

ヒツジにおけるサル ES 細胞由来の造血キメラの作製: ヒト組織含有家畜の開発に向けて

佐々木京子¹、長尾慶和²、長谷川秀昭^{1, 2}、北野良博³、花園 豊¹ (¹自治医科大学再生医学研究部、²宇都宮大学農学部、³国立成育医療センター外科)

S-3. 9:24~9:36

合成ペプチド導入による臍帯血造血幹細胞の体外増幅法の開発

田中宏和^{1, 2}、松村 到³、伊藤仁也¹、中畑龍俊³、金倉 譲² (¹先端医療振興財団再生医療研究部、²大阪大学大学院医学系研究科 分子病態内科学(血液・腫瘍内科学)、³京都大学大学院医学研究科 発生発達医学講座 (小児科学))

S-4. 9:36~9:48

ポリコム群遺伝子 BMI-1 の白血病発症における役割と新しい分子マーカー及び治療標的としての可能性

澤 正史、山本一仁、菱田朝陽、直江知樹 (名古屋大学大学院医学系研究科 分子細胞内科学、予防医学教室)

B. 血液細胞

座長：林 眞一 (演題5-7 9:48~10:24)

S-5. 9:48~10:00

個体発生におけるリンパ球系造血の起源

横田貴史、Paul W. Kincade、Bruno Peault、織谷健司、富山佳昭 (大阪大学分子制御内科、Oklahoma Med. Res. Foundation, Children's Hospital in Pittsburgh)

S-6. 10:00~10:12

SgIGSF 接着分子が媒介するマスト細胞の繊維芽細胞への接着における *c-kit* 受容体チロシンキナーゼの必要性

伊藤彰彦、狛 雄一郎、北村幸彦 (大阪大学大学院医学系研究科病理病態学 [病理学])

S-7. 10:12~10:24

マウス ES 細胞由来赤芽球を用いた赤血球特異的ヘム制御遺伝子の同定
藤原 亨¹、張替秀郎²、高橋伸一郎²、賀来満夫²、佐々木 毅¹ (¹東北大学免疫・血液病制御学、²同分子診断学)

コーヒーブレイク (10:24~10:40)

座長：宮島 篤 (演題8-9 10:40~11:04)

S-8. 10:40~10:52

マウス造血組織における PCLP1陽性細胞の性状
鬼塚和泉¹、岡部智也¹、矢原一郎¹、竹内真樹²、宮島 篤² (¹株式会社医学生物学研究所、²東京大学分子細胞生物学研究所機能形成研究分野)

S-9. 10:52~11:04

マウス造血幹細胞増幅と骨髄移植モデルにおける治療効果の検討
萩原哲也、長尾研二、太田貴之、平家俊男*、中畑龍俊*、稲垣好昌、西川光郎 (キリンビール株式会社 医薬探索研究所、*京都大学大学院発達小児科学)

C. 血液シグナル

座長：宮島 篤 (演題10 11:04~11:16)

S-10. 11:04~11:16

造血発生制御における AML1/Runx1ファミリー分子間の機能重複
中瀬葉子、杉本 徹、奥田 司 (京都府立医科大学 大学院 医学研究科)

座長：田賀 哲也 (演題11-14 11:16~12:04)

S-11. 11:16~11:28

Ets ファミリー転写因子を中心とした転写因子間クロストーク
及川恒之¹、鈴木光浩¹、真鍋法義¹、中澤洋介¹、岩間厚志² (¹佐々木研究所・細胞遺伝部、²東京大学医科学研究所・幹細胞治療研究分野)

S-12. 11:28~11:40

ヒートショック蛋白による mRNA 半減期調節と造血細胞の生死決定
松井啓隆、稲葉俊哉、(広島大学原爆放射線医科学研究所 がん分子病態研究分野)

S-13. 11:40~11:52

アダプター分子 CrkL は SDF-1による造血細胞の遊走を亢進させる
新井文子、金 艾順、閻 為華、水地大輔、三浦 修 (東京医科歯科大学 血液内科)

S-14. 11:52~12:04

Cas-L は marginal zone B 細胞の保持に重要である
瀬尾幸子、浅井隆司、齋藤俊樹、鈴木隆浩、市川 幹、小川誠司、黒川峰夫、千葉 滋、平井久丸
(東京大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科)

昼食 (12:04~13:00)

座長：吉村 昭彦 (演題15-19 13:00~14:00)

S-15. 13:00~13:12

Ras/MAPK 経路抑制因子 Spred-2の AGM 造血における機能の解析

信久幾夫¹、加藤玲子²、井上博文¹、滝沢牧子¹、沖田圭介¹、吉村昭彦²、田賀哲也¹

(¹熊本大・発医研・転写制御、²九大・生医研・免疫制御)

S-16. 13:12~13:24

好中球造血における Stat3の機能

亀崎健次郎、下田和哉、沼田晃彦、原田実根 (九州大学大学院病態修復内科)

S-17. 13:24~13:36

GM-CSF シグナルによる血液幹細胞の増幅

渡辺すみ子、青木 豊、金田 真、依馬秀夫、中内啓光、中畑龍俊、新井賢一 (東京大学医科学研究所、京都大学医学部)

S-18. 13:36~13:48

サイトカインシグナル制御因子 CIS1および SOCS3による造血制御

木村丹香子、吉村昭彦 (九州大学生体防御医学研究所 免疫制御学分野)

S-19. 13:48~14:00

Nitric Oxide (NO) ラジカルによる造血制御

岡田誠治、鈴 伸也 (熊本大学エイズ学研究センター 予防開発分野)

D. 臓器幹細胞

座長：小室 一成 (演題20-22 14:00~14:36)

S-20. 14:00~14:12

成体心臓からの心筋幹細胞の単離と同定

永井敏雄、松浦勝久、小山知美、和田 浩、西 淳一郎、小室一成 (千葉大学大学院医学研究院循環病態医科学)

S-21. 14:12~14:24

骨髄由来心筋組織再生細胞の起源

川田浩志^{1,2}、藤田 淳^{3,4}、松崎有未⁵、津間光代^{1,2}、宮武浩子^{1,2}、六車ゆかり^{1,2}、岡野栄之⁵、

小川 聡⁴、堀田知光^{1,2}、福田恵一³、安藤 潔^{1,2} (¹東海大学血液内科、²東海大学再生医学センター、³慶応大学心臓病先進治療学、⁴慶応大学呼吸循環器内科、⁵慶応大学生理学)

S-22. 14:24~14:36

骨格筋再生過程における Side Population (SP) 細胞の解析

上住聡芳、尾嶋孝一、深田宗一郎、増田 智、深瀬明子、鈴木友子、武田伸一 (国立

精神・神経センター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部)

コーヒーブレイク (14:36~14:50)

座長：宮崎 純一 (演題23-26 14:50~15:38)

S-23. 14:50~15:02

骨格筋の脱分化と分化転換および再生

大越有一¹、黒瀬隆史¹、水上浩明²、今村道博³、小澤敬也²、武田伸一³、遠藤 剛¹

(¹千葉大学理学部生物学教室、²自治医科大学分子病態治療研究センター、³国立精神・神経センター神経研究所)

S-24. 15:02~15:14

成体マウス膵管細胞の単離培養とインスリン・アルブミン産生細胞への分化誘導

山本恒彦、倭 英司、谷口秀典、下田雅史、田代 文、宮崎純一 (大阪大学大学院医学系研究科幹細胞制御)

S-25. 15:14~15:26

ヒストン脱アセチル化酵素阻害薬によるヒストンおよび GATA-4のアセチル化が ES細胞から心筋細胞への分化効率を亢進させる

川村晃久¹、尾野 亘²、モーセンホセインカニ¹、長谷川浩二²、日高京子³、森崎隆幸³、平家俊男⁴、中畑龍俊⁴、末盛博文⁵、中辻憲夫⁵、北 徹¹ (¹京都大学大学院医学研究科循環器内科、²国立京都病院臨床研究センター展開医療研究部、³国立循環器病センター、⁴京都大学大学院医学研究科発達小児科学、⁵京都大学大学院医学研究科再生医科学研究所)

S-26. 15:26~15:38

ES細胞特異的遺伝子群 ECAT を利用した多能性幹細胞の選択

山中伸弥 (奈良先端科学技術大学院大学 遺伝子教育研究センター 動物分子工学)

総 会 (15:38~15:53)

ポスター発表 (15:53-17:30)

P-1. スタチン系薬剤による造血細胞の SDF-1誘導 Rho 活性化および走化性の抑制

後藤明彦、宮澤啓介、池淵研二、大屋敷一馬 (東京医科大学 第一内科、埼玉医科大学病院 輸血・細胞移植部)

P-2. 低分子化合物 JTZ132によるヒト巨核球・血小板造血の促進作用

光村かの子、宮川義隆、池田康夫、木崎昌弘 (慶應義塾大学医学部 内科学)

P-3. Stem cell に同一起源を有すると考えられた T細胞性悪性リンパ腫から急性骨髄性白血

病への移行症例に認められた *TEL-FGFR3*キメラ遺伝子による腫瘍化機序の解析
前田智也、矢ヶ崎史治、石川真穂、高橋直樹、陣内逸郎、別所正美（埼玉医科大学 血液内科）

- P-4. 新規抗癌剤 CDDO の作用機序と臨床応用の可能性
池田宇次、中田有紀子、佐藤 謙、木村文彦、Donald Kufe、元吉和夫（防衛医科大学 第3内科、Dana-Farber Cancer Institute）
- P-5. ヒト CD34+細胞由来樹状前駆細胞による自己赤芽球系前駆細胞の貪食と抗原提示
深谷博志^{1,2}、稲葉カヨ³、鈴木世志子¹、廣川 誠¹、川端良成¹、小松田 敦¹、高田五郎²、
澤田賢一¹（¹秋田大学医学部 第3内科、²小児科、³京都大学生命科学研究所）
- P-6. 造血前駆細胞における PECL の高発現：再生不良性貧血における自己抗原の可能性
馮 興民、中条達也、蘆 緒章、杉盛千春、中尾眞二（金沢大学大学院医学系研究科 細胞移植学）
- P-7. PU.1強制発現による *Tal1*遺伝子欠損 ES 細胞からの破骨細胞誘導
経遠智一、山崎英俊、吉野三也、林 眞一（鳥取大学医学部生命科学科分子細胞生物学、免疫）
- P-8. マウス造血幹細胞の色素排泄能は発生段階及び活性化状態に応じて変動する
内田直之^{1,2}、B.Dykstra²、安川正貴¹、藤田 繁¹、C.J.Eaves²（¹愛媛大学第一内科、²Terry Fox Laboratory, BC Cancer Agency）
- P-9. 間葉系幹細胞分化モデルにおける遺伝子発現パターンの網羅的解析
宮里 彰¹、間野博行²、翁 家国¹、小澤敬也¹（¹自治医科大学内科学講座血液学部門、²自治医科大学分子病態治療研究センターゲノム機能研究部）
- P-10. 関節軟骨全層欠損再生過程における骨髄間葉系細胞の形質変化
安楽喜久^{1,3}、水田博志¹、工藤智志¹、高木克公¹、開 祐司²（¹熊本大学医学部整形外科、²京都大学再生医科学研究所、³人吉総合病院整形外科）
- P-11. 機能マーカーを用いたヒト腸上皮幹細胞の同定
綾部時芳¹、河野 透²、高後 裕¹（¹旭川医科大学 第3内科、²第2外科）
- P-12. 臍帯血細胞の肝細胞化に関する検討
汐田剛史、安井斉希子（鳥取大学大学院医学系研究科 遺伝子医療学）
- P-13. ES 細胞由来血管前駆細胞を用いた血管再生療法の開発—マウス下肢虚血モデルによる検討
山原研一、曾根正勝、伊藤 裕、山下 潤*、万木(小林)貴美*、宮下和季、朴 貴典、中尾一和（京都大学大学院医学研究科内科系講座 臨床病態医科学・内分泌代謝内科、

*京都大学再生医科学研究所附属幹細胞医学研究センター)

- P-14. ヒト乳歯歯髄幹細胞の同定と成熟脂肪細胞への分化誘導
野口倫生、別所和久、澤田直哉、藤本宗也、藤倉純二、益崎裕章、伊藤 裕、中尾一和（京都大学大学院医学研究科臨床病態医科学・内分泌代謝内科、京都大学大学院医学研究科感覚運動系病態学・口腔外科）
- P-15. Understanding the origin of melanocyte stem cells
Suzanne Mak, Shin-Ichi Nishikawa, Masatake Osawa（理化学研究所 CDB）
- P-16. アデノウイルスベクターを用いた相同組換えによる幹細胞の染色体操作
大林富美、三谷幸之介（埼玉医科大学ゲノム医学研究センター 遺伝子治療部門）
- P-17. アンチセンス遺伝子による X 染色体不活性化制御機構の解析
柴田進和^{1,2}、横田 崇¹、Jeannie T.Lee²（¹金沢大学医学系研究科 再生分子医学、²Department of Molecular Biology, Massachusetts General Hospital）
- P-18. 転写共役因子 TRAP/Mediator 複合体と未分化前駆細胞の分化
伊藤光宏、浦浜憲永、松井利充（神戸大・医・血液／腫瘍内科）

第 2 回幹細胞シンポジウム [平成16年4月27日]

E. ES・染色体

座長：仲野 徹（演題27-28 9:00～9:24）

S-27. 9:00～9:12

新規 ES 細胞特異的遺伝子 CES1 の解析

宮崎竜志、後藤田奈々香、安野 徹、宮崎早月、田代 文、倭 英司、宮崎純一（大阪大学大学院医学系研究科幹細胞制御）

S-28. 9:12～9:24

Rox-1 による ES 細胞の未分化維持機構の解明

佐藤充治、中武悠樹、柴山正樹、泉 友則、磯邊俊明、吉田進昭（東京大学医科学研究所 ヒト疾患モデル研究センター 遺伝子機能）

座長：横田 崇（演題29-30 9:24～9:48）

S-29. 9:24～9:36

中胚葉系・間葉系細胞の多様性と幹細胞能獲得

江良沢実、西川伸一（理研・発生再生研・幹細胞）

S-30. 9:36～9:48

精子形成におけるマウス Piwi ファミリー、MIWI および MILI の役割

宮川(倉持)さとみ、木村 透、仲野 徹（阪大・微研・遺伝子動態）

座長：岡野 栄之（演題31-34 9:48～10:36）

S-31. 9:48～10:00

生後脳海馬神経新生における転写因子 Pax6の機能

前川素子¹、湯浅茂樹²、大隅典子¹（¹東北大学大学院医学系研究科 創生応用医学研究センター 形態形成解析分野、²国立精神神経センター 神経研究所）

S-32. 10:00～10:12

神経系前駆細胞における Wnt シグナルの役割

平林祐介、伊藤靖浩、増山典久、後藤由季子（東京大学分子細胞生物学研究所 情報伝達研究分野）

S-33. 10:12～10:24

エピジェネティクス制御による中枢神経幹細胞のアストロサイト分化制御機構

波平昌一、中島欽一、田賀哲也（熊本大学発生医学研究センター 転写制御分野）

S-34. 10:24～10:36

神経幹細胞及び胎盤組織の幹細胞におけるドッキング分子を介する FGF シグナル伝達の解析

後藤典子¹、山本誠士¹、室橋道子¹、田中 智²、Joseph Schlessinger³、渋谷正史¹
（¹東京大学医科学研究所 腫瘍抑制、²東大農学生命科学 応用動物、³Department of Pharmacology, Yale University School of Medicine）

コーヒーブレイク（10:36～10:50）

HIRAI MEMORIAL SYMPOSIUM（10：50～14：30）

Opening Remarks：Fumimaro Takaku（President, Jichi Medical School）

Chairperson：Shigeru Chiba（No.1-2 10:56～11:46）

H-1. 10:56～11:11

Shigeru Chiba（University of Tokyo Hospital）

Developmental and post-developmental regulation of hematopoiesis by Notch1 and Notch2

H-2. 11:11～11:46

Warren S. Pear（University of Pennsylvania）

Mastermind is required for Notch-mediated lymphoid cell fate decisions

Lunch（11:46～12:40）

Chairperson：Kinuko Mitani（No.3-6 12:40～14:30）

H-3. 12:40～12:55

Kinuko Mitani（Dokkyo University School of Medicine）

AML1-Evi-1 knock-in mice show dysplastic fetal hematopoiesis

H-4. 12:55~13:20

Mira C. Puri (University of Toronto)

Receptor tyrosine kinase signalling in development of the cardiovascular and hematopoietic lineages

H-5. 13:20~13:55

Nancy A. Speck (Dartmouth Medical School)

Runx1-CBF β function in hematopoiesis and leukemia

H-6. 13:55~14:30

Pier Paolo Pandolfi (Sloan-Kettering Cancer Center)

Deconstructing leukemia molecular genetics in the mouse

懇親会 (18 : 30~)

12階 ダイヤモンドルーム